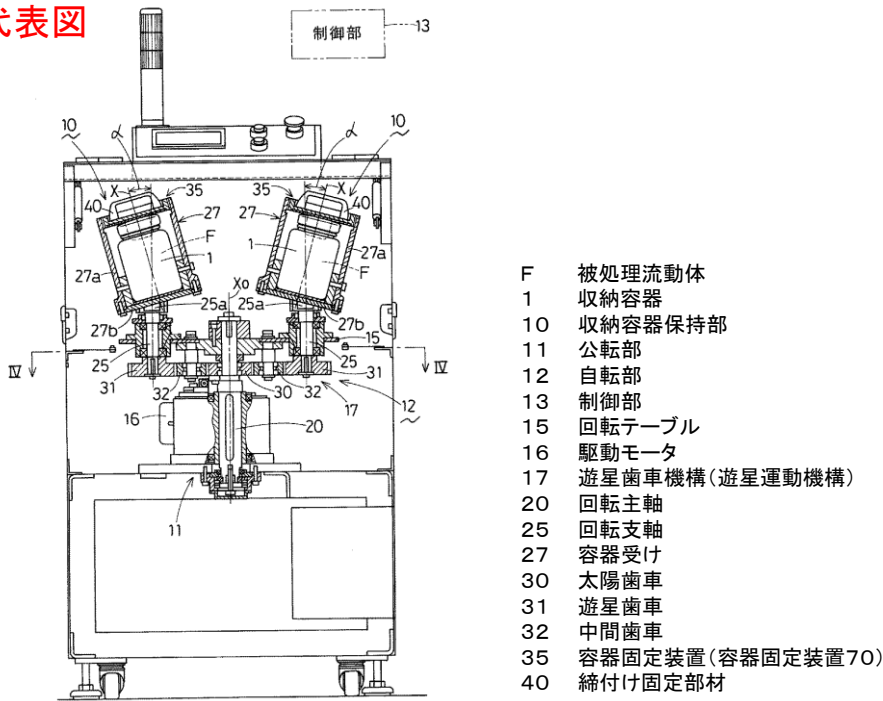


加工技術

攪拌装置

発明の名称	流動体攪拌装置		
出願人/権利人	三恵ハイプレシジョン株式会社	発明者	落合 良隆
出願日	平成24年9月27日	出願番号	2012-213290
公開番号	2014-65010	特許番号	6131017
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

複数種類の液体、ペースト、粉粒体または粉体、あるいはこれらの混合物(以下、被処理流動体と称する。)を攪拌処理する攪拌装置

特徴

従来の技術では、収納容器の公転(さらには自転の併用)による遠心力作用に加えて、この遠心力作用による攪拌・脱泡を真空状態下で行うようにした方法が知られている。しかし、装置構造が大型かつ複雑で、装置コストの上昇を招くとともに、ランニングコストも上昇する問題を抱えていた。

しかし、本発明では、被処理流動体を充填収容した収納容器を攪拌動作させる工夫により、上記問題の解消だけでなく、従来不可能とされていた異種の粉粒体や粉体同士についての攪拌処理も可能となる。

関連分野

液体、粉体、ペースト、攪拌、混合

応用の可能性

産業例	用途例
農業、水産	種子、土壌、肥料、農薬、飼料、穀物、木材チップ
食品	穀物、デンプン、小麦粉、化学調味料、粉乳、砂糖、塩
繊維	糊材、マット材、染料、顔料
ゴム、高分子	カーバイト、ポリマー、充填材、顔料、イオウ、高分子ペレット、粉材
顔料、充填材	有機顔料、無機顔料、カーボンプラック、コロイダルシリカ、インキ、フィラー
化学工業	鉱石、石灰石、触媒、各種無機・有機薬品
窯業	粘土、黒鉛、石灰石、金属酸化物、珪砂、アルミナ、セメント、ガラスビーズ
金属製品、機械	金属粉、研磨剤、研削材
医薬品、化粧品	亜鉛華、デンプン、活性アルミナ、乳糖、タルク、顔料、錠剤、顆粒、散剤、ハミガキ、白粉
塗料	顔料、増粘剤、粉体塗料、マイクロカプセル、トナー
電子材料、磁性体	酸化チタン、炭酸バリウム、酸化鉄、チタン酸バリウム、導電塗料
電気機器	金属酸化物、蛍光材料、黒鉛、タングステン、モリブデン、シリカ、アルミナ、粒状カーボン

など

応用の可能性

- ・農業、水産
- ・食品
- ・繊維
- ・ゴム、高分子
など
- ・顔料、充填剤
- ・化学工業
- ・窯業
- ・金属製品、機械
- ・医薬品、化粧品、
塗料
- ・電子材料、磁性体
- ・電気機器

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・タキイ種苗株式会社
- ・株式会社ツムラ
- ・大日本住友製薬株式会社
- ・関西触媒化学株式会社
- ・日立金属株式会社
- ・DIC株式会社
- ・株式会社ノリタケカンパニーリミテド
- ・ライオン株式会社
- など

三恵ハイプレシジョン(株)の本発明に関する最新動向

製品名「SANMIX」(<http://sankei-pr-mx.com/>)にて、積極的に展開している様子が伺えます。
機種は「SANMIX MX-05T」「SANMIX MX-10T」の2機種で特許取得済みとの表記もあります。